

「すぎなみ ちょこっトーク」の開催について

10月31日、無作為抽出で選ばれた区内在住の45歳未満の区民が、結婚・出産・子育てについて意見交換を行う、「すぎなみ ちょこっトーク ～みんなで話す すぎなみの未来～」を開催しました。

区では、平成24年3月に策定した杉並区基本構想(10年ビジョン)の実現を図るため、総合計画、実行計画を策定し、その推進に努めてきました。

また、国が昨年11月にまち・ひと・しごと創生法を制定したことを踏まえ、「杉並区まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定を進めています。



この「杉並区まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)」では、「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」ことを目標の一つに掲げ、出生数・出生率の増加や、子育て世帯の定住促進などに取り組んでいく予定です。

こうした状況の中、区は基本構想及び総合計画の達成度や進捗状況、策定中の総合戦略(案)の内容について周知し、若い世代の意見を区政に反映させることを目的に、基本構想実現のための区民懇談会「すぎなみ ちょこっトーク ～みんなで話す すぎなみの未来～」を開催しました。懇談会は、18歳から45歳未満の区民1500名を無作為で抽出し、参加希望のあった区民により行いました。



当日は29名(男11名、女性18名)が参加し、ファシリテーターの進行によって意見交換を進めました。「杉並区が結婚・出産・子育てしやすいまち」になるにはどんなことが必要か、また何を区に求めるか、などについて活発な意見交換が行われました。

参加者からは「区が取り組んでいることのPRが不足している」、「行政だけでなく民間とも連携を」、「今日のような場がもっとあると良い」といった意見が出されました。

全体の振り返りの後、明治大学の牛山久仁彦教授から講評をいただき、「行政だけでは限界がある。皆さんが日々の暮らしで考えていることを、公共性というキーワードで捉え、議論を積み重ねていくことが重要」とのご意見をいただきました。

今回いただいたご意見は、策定中の「杉並区まち・ひと・しごと創生総合戦略」の参考とさせていただくほか、今後の各計画の改定を含む区政運営の参考とし、引き続き基本構想の実現に向けて取り組んでいきます。